

『やまんばのにしき』 『おおかみのまひげ』

人形劇団きりり初公演。2018年4月から活動を開始し、現在12名で活動しています。この度の上演作品は、三次に伝わる昔話をもとに創作した人形劇2作品です。独自のアレンジを加え、子どもから大人まで楽しめる作品にしました。ぜひ、会場に見に来てください！

2018年 **12月2日(日) 14:00開演/13:30開場**



【会場】 三次市民ホール きりり
サロンホール

【料金】 500円

10月13日(土)
10:00 発売

※4歳以上有料。
※3歳以下膝上観劇無料。
※車椅子席をご希望の場合、
三次市民ホールへお申込みください。
※上演時間約1時間
※託児なし ※定員100名



『やまんばのにしき』

むらまつ ひ やまんば もち も こ むらひと いる
村祭りの日、山姥が「餅を持って来い！」と村人を震え
あがらせた。

だれ も い く も ばば な の
誰が持って行くか揉めていると、ひとりのお婆が名乗り
をあげた。

やまんば もち はこ い
山姥のところへ餅を運んで行くのだが…。

『おおかみのまひげ』

あるところに、はたら もの わかもの
あるところに、働き者の若者がいた。

はたら はたら く らく
働いても働いても暮らしは楽にならない。

あるひ もり おく こ たす
ある日、森の奥でオオカミの子どもを助けたことで、
わかもの く へんか おとす
若者の暮らしに変化が訪れた。



【主催】 三次市民ホール事業運営委員会、人形劇団きりり 【三次市支援事業】この公演は三次市の補助金等の支援により実施しています。

【チケット取扱・お問合せ】 広島県三次市三次町111-1

三次市民ホールきりり TEL.0824-62-2222 (9:00~19:00/水曜休館)